

新規X線骨密度装置 (TOYO MEDIC HOLOGIC) 導入について ～検査の短縮 被ばくの低減～

放射線部 小野 佳弘

当院では2022年4月1日より新しくX線骨密度測定装置 (HOLOGIC) を導入しました。

初めに骨密度とは骨の密度 (単位体積当たりの骨量) を示した値で骨密度が低下すると骨粗しょう症のリスクが高まるといわれています。

骨粗しょう症とは骨密度が下がることで骨が脆くなる病気です。骨粗しょう症が進行すると転倒やくしゃみなどのごくわずかな衝撃やまったく力が掛からなくても骨折する事があります。

当院に導入された骨密度検査のDEXA法 (Dual-energy X-ray Absorptiometryの略) で、2種類の異なるエネルギーのX線を使って骨密度を測定する方法です。通常は腰の骨 (腰椎) や太もものつけ根 (股関節) の骨密度を測定します。骨密度測定の中でもっとも精度が高い測定方法と言われています。この検査ではごくわずかに放射線を浴びます。通常の検査では体に影響ある量ではありませんが妊娠の可能性のある方は検査を行う前に医師に相談して下さい。

検査時間は腰椎と股関節の検査を合わせて5分ぐらいで写真の撮影台に寝ているだけで痛みもなく終了します。

解析時間も5分ほど掛かりますので放射線受付で待ってもらい検査結果を貰って各科に行ってもらいます。

当X線骨密度装置を導入したことにより短時間で行えるので低被ばくで自分の骨

密度がすぐに分かります。

また同年代の人、若い人 (20歳～44歳の健康な女性を100%) と比べて自分の骨密度がどのくらいなのかもすぐに分かります。是非とも今後の骨密度検査に期待して下さい。

骨密度検査にかかわらず放射線の検査で不安や不明な点がありましたら気軽に放射線技師にお尋ね下さい。

